

## 歯科治療を不安がる小児に対するオゾン治療

Adrian Lussi

ベルン大学

ZMKの保存歯科学講座(ベルン)が臨床試験を行い、初めて肯定的な結果を発表した。歯科治療を嫌がる傾向にある小児を対象とし、それぞれ2個以上の齲窩のある齲蝕に対してヒールオゾン(カボデンタル)で治療を行った。治療に先立ち、オゾン治療の前後で臨床指標を記録し、DIAGNOdent®値を測定した。治療群の齲蝕にはオゾンを直接照射し、対照群の齲蝕には照射せず、未治療のままとした。治療群の齲蝕の軟化象牙質は、2/3が硬化したが、1/3には変化がなかった。対照群では、齲蝕が改善した割合は1/3で、1/3は進行し、残りの1/3には変化がなかった。フッ素添加は行わなかった。

最も肯定的な所見として、齲蝕の治療が無痛に行うことができたため、被験者である小児の65%の不安を減少させることができ、全員が次回の治療にも来たことが挙げられる。装置に対する被験者の許容も非常に良好で、95%がこのオゾン治療が高価であっても受けたいと答え、80%が友人や家族に勧めると答えた。この新しい治療方法は、その後の治療を行う際に根本的に重要である信頼感を育む。オゾン装置を使用すれば器具で歯に触れることなく無痛で治療ができ、心理的なトラウマを避けることができるため、幼い小児でも齲蝕治療を嫌がらずに受けることができるようになると考えられる。